

令和5年度事業報告

令和5年度の社会状況は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同等の「5類」へと引き下げられ、社会経済活動がコロナ禍前の状態へと急激に回復してきました。

しかし、長期にわたるロシアのウクライナ侵攻や、新たにイスラエルとハマスの紛争など、世界経済に与える様々の事案が多発し、世界的に貿易やエネルギー価格への悪影響、国内においても電気料金的大幅値上げや食料品の値上げなど消費者にかかる負担が多くなり、物価上昇が、賃上げを上回る状況が続いています。

また、今年の元旦には能登半島沖地震が発生し、多くの方が犠牲となられ、今なお、避難所での生活を余儀なくされる多くの方々がおられるなど、復旧の見通しが見えない状況が続いています。

被災されました、すべての方々に心からお見舞い申し上げます。

そうした中、人口減少、少子高齢化が急速に進む一方で、誰もが生涯現役で活躍できる環境の整備が求められ、元気で働く意欲ある高齢者が培ってきた経験や技能を活かした社会参加や、生きがい創りの一つとして、シルバー人材センターの役割がより一層大きくなっています。

市民や発注者の皆様から必要とされるシルバー人材センターを目指すべく、中期計画（令和元年度～令和5年度）を基本として、既存事業を更に強化すると共に、就業拡大、会員拡大、女性会員の拡大にも取り組んでまいりました。

しかし、当シルバー人材センターの事業実績は請負・委任及び派遣事業での新規契約の確保に努力しましたが、どの産業においても労働力が不足している状況とのことですが、当シルバー人材センターへの就業依頼は増えず、正味財産期末残高で昨年度より△332,671円減額の440,759円となりました。会員数は、昨年度より5名増員の309名に留まりました。

以下、令和5年度に実施した主な事業について報告します。

1 会員の状況

県シルバー人材センター連合会と連携した技能講習会の開催による会員募集や地区公民館に会員募集チラシの設置、ハローワーク魚津との連携を図りチラシの設置、チラシの新聞折り込み（2回）、そして会員数の少ない3校区（村椿、若栗、東布施）にはチラシを市広報と同時配布をしていただきました。また入会説明会（定期8回、臨時12回参加者56名）の取り組みや昨年に引き続き未就業会員の年会費免除により退会抑制に努めた結果、新入会員は34名、退会者は29名となり、令和5年度当初

会員数304名から5名増加し309名（対前年度比101.6%）となりました。

就業のチャンスが少ない方、仕事の内容等で困っている事案等については、個別に相談や対応等について協議しました。

その他、女性会員の親睦や交流及び会員拡大を図るため、「ミニ門松づくり講習会」及び、「フラワーアレンジメント教室」を開催しました。

2 センター事業の実績

チラシの新聞折り込み、会員による受注拡大、市内企業を訪問するなど受注の拡大に取り組みました。

① 受託事業の実績

受託件数は、前年度比286件減少の4,710件（対前年度比94.3%）、契約金額は前年度比647万円減少の8,223万円（対前年度92.7%）でありました。

② シルバー派遣事業の実績

受注件数は、対前年度比8件増加の84件（対前年度比110.5%）また、会員賃金及び手数料合計は対前年度比204万円減の3,853万円（対前年度比95.0%）でありました。

③ 職業紹介事業の実績

受注件数は3件、会員賃金及び手数料合計は99万円でした。

<参考>

（単位：万円）

区 分		令和5年度	令和4年度	比較増減
受託事業契約金額		8, 2 2 3	8, 8 7 0	△ 6 4 7
シルバー 派遣事業	賃 金	3, 4 2 7	3, 6 0 8	△ 1 8 1
	手数料	4 2 6	4 4 9	△ 2 3
職業紹介 事業	賃 金	9 1	5 9	3 2
	手数料	8	5	3
合 計		1 2, 1 7 5	1 2, 9 9 1	△ 8 1 6

備考：センターの経常収益には、シルバー派遣事業及び職業紹介事業の「賃金」は含まれません。

3 自主・自立の組織づくり

理事（役員）会は5回開催し定時総会に付議する重要議案の審議等の協議を行うとともに、事業、予算の執行状況の調査・適正な運営、会員の適正就業の推進に努めました。また、会員の声が反映されるよう業務

執行に関する意思決定機関である理事会において、建設的議論が展開されるように努めました。

4 安全・適正就業の推進

「安全は全てに優先する」を合言葉に、「安全・安心なシルバー事業」の構築を図るために、理事会や会報等で事故の発生状況を報告し、会員一人ひとりの安全就業に対する自己啓発安全意識の高揚に努めました。

安全適正就業推進委員会は2回開催し、発生した事故の原因や安全基準について検証し、事故の未然防止や再発防止対策を協議しました。

剪定現場や草刈現場等を中心に、事故発生等を未然に防止するために、安全パトロールを2回実施し、昨年は猛暑日が続く中、熱中症予防を呼び掛ける緊急パトロールを実施し、安全作業に対する意識の高揚を図りました。

さらに、県シルバー連合会が開催した安全・適正就業対策推進委員会や安全・適正就業対策推進研修会に積極的に参加して、他センターでの事故発生状況や発生要因、事故防止に向けての取り組み、対策状況の確認をすることにより、当シルバー人材センターにおける事故の未然防止、再発防止に取り組むように努めました。

5 就業開拓・会員拡大の推進

会員拡大を図るため、会員による1人1会員入会運動として会員紹介カードの取り組みを行いました。(2名入会)

シルバー事業普及啓発チラシの充実を図り、新聞折り込みや会員の少ない校区において市広報に会員募集チラシの同時配布や市内の事業所等を訪問して、新規就業先等の開拓推進に努めました。

6 事業運営の効率化

センター事務局5人体制で、事務分掌の検証・見直し事務の効率化や組織の活性化や管理経費の見直し、持続的に事業運営を行うよう経費節減を行い財政基盤の安定化に努めました。

また、デジタル化に対応するための会員スマホ研修会や、それに対応するためのシステムの構築や財政基盤の構築を目指し、歳入歳出の両面からも総合的に検討するように努めました。

<基本事項の実施状況>

【会議の開催状況】

- ・理事（役員）会 5回
- ・会報編集委員会 4回
- ・職務班（安全就業研修会）会議 7回

【事業の普及啓発活動】

- ・当センターの会報くろべがわを年2回発行
- ・当センターのホームページを年5回更新
- ・新聞折り込みチラシ（お仕事の手伝い、会員募集） 年2回
- ・村椿・若栗・東布施地区全戸配布（市広報と同時配布）

【会員の増強】

- ・毎月第二火曜日の定時入会説明会、臨時の説明会の開催

※参考 令和5年度 20回 56名参加